



学校安心ルールについて

基本的な 4 つの考え方

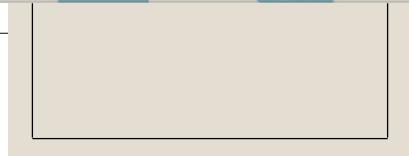
基本的な考え方

学校安心ルールは、あらかじめルールを示しておき、生徒のみなさんが自覚（理解）したうえで、自らを律する（正しい判断をする）ことができるようになることを目的として定められているものです（してはいけないことをした人を罰するものではありません）。



基本的な考え方

大切にしたいことは、示されている基本的な約束ごとを心がけることです。さらに、一人ひとりがルールを守ることの大切さや相手のことを考えられる「よりよい学校（社会）」を目指して定められているものです。主に4つの約束事があります。



うそ

①嘘をつかない

基本的な 4 つの考え方（約束）

失敗は成長の糧に 叱られることは悪いことだけではありません

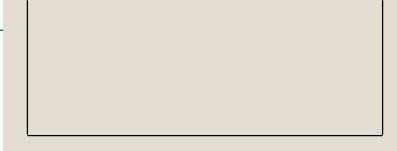
生徒のみなさんが失敗することもあるでしょう。そのときに叱られたり、指導されたりすることが嫌だと思うかもしれません。嘘をついたり、ごまかしたりすることで、その場をすり抜けることもできるかもしれません。しかし、この先にもっと大きな失敗をしてごまかしきれなくなったりしたときに本当に困ることになります。中学生の責任の果たし方は、「ごめんなさい」が唯一の方法です。その後、どうしていくのかが大切なのです。



②ルールを守る

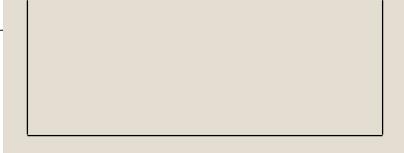
まも

基本的な 4 つの考え方（約束）



ルールを守るから、ルールに守られる

集団生活をするためのルールは、誰もが嫌な思いをしないでいいように定められています。そこへ「自分さえよければいい」という考え方を持ち込まれると誰かが嫌な思いをしたり、誰かに迷惑をかけることになります。「公共の場」では、「みんなで過ごすためのルール」が必要です。



③ 勉強する

べんきょう

基本的な 4 つの考え方（約束）

「わからない」から「わかる」という喜びのために 「できない」から「できた」という喜びのために

勉強は、知らないことを知るために、わからないことがわかるようになるために、できないことができるようになるためにするものです。初めは「わからなくても」「できなくても」いいんです！ワクワク、ドキドキの気持ちを忘れずに勉強してほしいと思います。

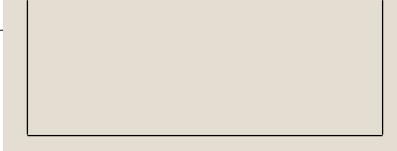
先生たちも、そのための準備を一生懸命しています。大人も子どももワクワク、ドキドキできるように勉強をしましょう。人生は一生勉強です！



ひと しんせつ

④人に親切にする

基本的な 4 つの考え方（約束）



親切にしてもらって嫌がる人はいない

人から親切にしてもらって嫌な気持ちになる人はいないと思います。自分が行った親切に対して「お礼」を伝えられて嫌な気持ちになる人はいないと思います。親切の輪を広げていくことで、良好な人間関係が作られていくのではないかでしょうか。

親切にしてもらった相手に「恩返し」するだけでなく、次の誰かにその「恩を送ることで誰もがみんな幸せになれるのではないかでしょうか。

私たちちは「共通点の方が多い」

私たち人間は、他人との違いよりも共通点の方が多いはずです。嬉しいと思う気持ちや、悲しいと思う気持ちなど、みんな持っているものです。それなのに、些細（ささい）な違いを理由にして排除（仲間外れに）しようしたり、攻撃したりすることができます。

違いを認め、その違いを「個性」として尊重し学校や社会で役に立ててもらえば、豊かな世界（「いじめ」や「差別」のない学校や社会）を作ることができるのでないでしょうか。